

ASAMI MAKI
BALLET 牧阿佐美バレエ団
TOKYO

Notre-Dame
de Paris

ローラン・プティ振付

ノートルダム・ド・パリ ガイド



牧阿佐美バレエ団
ASAMI MAKI BALLET TOKYO

What is Notre Dame de Paris ?!

20世紀最高のスペクタクル・バレエ 『ノートルダム・ド・パリ』とは?!

映画、オペラ、ミュージカル……

さまざまな作品で描かれてきた珠玉のストーリー

『ノートルダム・ド・パリ』の原作はフランス・ロマン主義の文豪ヴィクトル・ユーゴーの小説『ノートルダムのせむし男』。中世のパリを舞台に、ノートルダム大聖堂の鐘楼に住む男力ジモドと美しいジブシーの娘エスメラルダ、聖職者のフロロ、警備隊長のフェビュスの間で繰り広げられる愛、嫉妬、怒り、苦しみなどの心の機微を描き出した名作です。

ドラマ性の高いその物語はエンターテインメントに携わる多くの人々の創造性を刺激し、これまでに映画、オペラ、ミュージカルなどさまざまな形で上演、上映されてきました。特に邦題『ノートルダムの鐘』として公開されたアニメーション映画とそれをもとにしたミュージカルは、大人から子どもにまで広く親しまれ、ご覧になったことがある方も多いのではないのでしょうか。

愛と嫉妬、死のドラマがバレエに

今回上演されるバレエ『ノートルダム・ド・パリ』は、20世紀を代表する振付家ローラン・ブティが、1965年にパリ・オペラ座の委嘱により制作した作品です。フランスのエスプリに満ち、洗練された独創的なセンスで登場人物の心理を描写。さらに衣裳、音楽、美術と、それぞれのジャンルのトップアーティストが参加し、中世パリの猥雑で濃密な物語の世界を、一級のエンターテインメント・バレエに仕上げています。

日本では6年ぶりの上演となる本作、見逃すわけにはいきません。



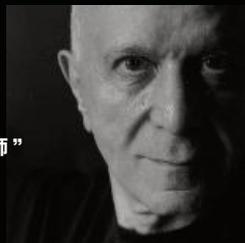
トップアーティストが集結した奇跡の舞台

choreography / script 振付・台本

ROLAND
PETIT

歴史に残る名作を生んだ“ダンスの魔術師”

ローラン・プチ



『ノートルダム・ド・パリ』の振付・台本を手掛けたのは、20世紀を代表するバレエ振付家ローラン・プチ。1924年パリに生まれ、1940年、パリ・オペラ座バレエ学校を卒業後、オペラ座バレエ団に入団。20歳の頃から振り付けを始め、創造性と演劇的センス、エスプリに満ちた作品を次々と発表し、瞬く間にフランス・バレエ界を代表する振付家としての名声を確立しました。1948年にパリ・バレエ団を結成。翌年、主演にジジ・ジャンメルを得た「カルメン」で大成功を収めた後、ジジと共にハリウッドに渡り、フレッド・アステア主演のミュージカル映画などの振付も手掛けました。1965年、20年ぶりにパリ・オペラ座に戻った後はピカソやジャン・コクトーをはじめ、同時代に活躍した芸術家たちとともに数多くの名作を発表。2011年の没後もその作品は、世界中で上演され続けています。



プチによるカジモドの直筆イラスト
(左)とメイクのイメージ画(中・右)

costume design 衣装

YVES SAINT
LAURENT

流行を牽引し続けた“モードの帝王”

イヴ・サンローラン



衣装は、世界的ファッションデザイナーのイヴ・サンローラン。2002年の引退まで40年にわたって活躍し続けた彼は、映画や演劇、ダンスなどの衣装も手掛け、ローラン・プチのためにも多くの演目でバレエ衣装をデザインしています。1936年アルジェリアのオランに生まれ、クリスチャン・ディオールの愛弟子としてキャリアを積んだ後、自身のメゾンを設立。1962年にイヴ・サンローランの名で最初のコレクションを発表。1965年、オランダの抽象画家ピエト・モンドリアンの作品に着想を得てデザインされたモンドリアンルックは、シンプルなデザインと大胆な色使いで大旋風を巻き起こしました。このモンドリアンルックは同年に初演されたバレエ『ノートルダム・ド・パリ』の兵士たちの衣装にも使われ、幕開けから、色鮮やかでスタイリッシュな衣装が目を楽しませてくれます。

サンローランによるフェビュ
スの衣装デザイン画。

music 音楽

MAURICE JARRE

オスカーに3度輝いた世界的作曲家

モーリス・ジャール

音楽を担当したのは、モーリス・ジャール。多くのハリウッド映画のヒット作で知られ、『アラビアのロレンス』『ドクトル・ジバゴ』『インドへの道』で3度、アカデミー賞を受賞しています。『ノートルダム・ド・パリ』では特徴的な打楽器のリズムが、エスメラルダの魅惑的な登場シーンや緊張感に満ちたクライマックスなど数々の名シーンを彩ります。

Sets 装置

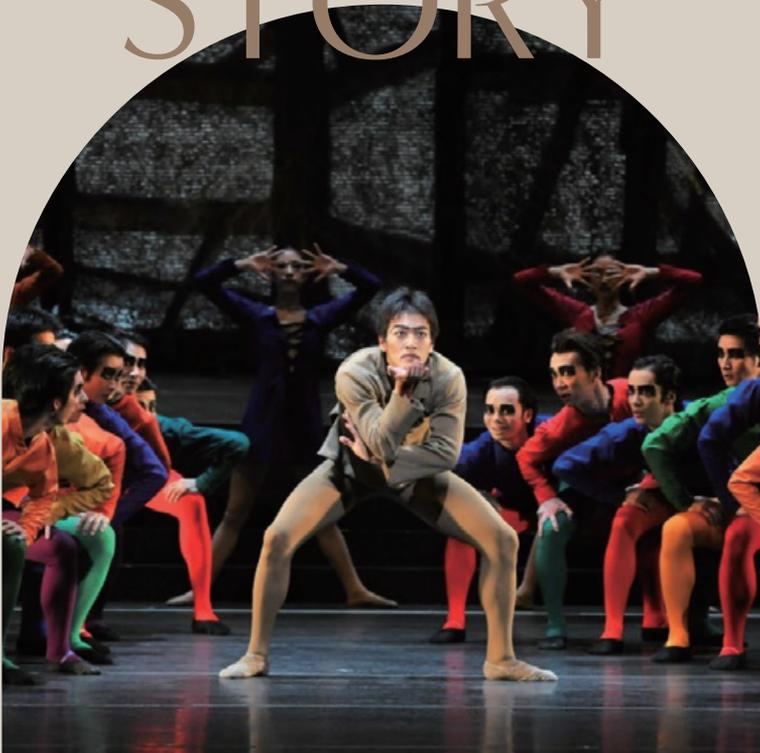
RENÉ ALLIO

画家・映画監督としても多才に活躍した舞台美術家

ルネ・アリオ

装置を担当したルネ・アリオは画家としても活躍し、フランスでは映画監督としての知名度も高いマルチな才能の持ち主。『ノートルダム・ド・パリ』の大聖堂と巨大な鐘が舞台上にそびえ立つ様は圧巻です。ローラン・プチのバレエでは『アルルの女』『ブルースト―失われた時を求めて』『嵐が丘』『四季』『ハリウッド・パラダイス』にも携わっています。

STORY



人物の心情を細やかに表現した傑作

舞台は15世紀末のパリ。ノートルダム大聖堂で鐘突きの仕事をするカジモドは、大聖堂の司教代理フロロの庇護のもと鐘突き塔に隠れるように暮らしています。その醜い姿を誰からも嘲笑されるばかりだったカジモドに、初めて優しさを見せたのは美しいジブシーの女エスメラルダでした。一方、エスメラルダと歩兵隊長フェビュスが愛し合う姿に強い嫉妬と怒りを覚えるフロロは、フェビュスを殺し、その罪をエスメラルダに着せようとして…

ローラン・プティの洒脱でモダンな振付による『ノートルダム・ド・パリ』は4人の登場人物のキャラクターを明確に描き出し、それぞれの心情を見事に表現。最後の幕が降りるまでどの場面も目が離せない見事なドラマ性に、みるみる引き込まれてゆくことでしょう。

CAST

パリ・オペラ座エトワールをはじめ、
各国のスターダンサーによる夢の共演が実現！

Quasimodo

カジモド

牧 阿佐美バレエ団プリンシパル

KEN
KIKUCHI

菊地 研

11 sat



プティに見いだされた俊英が更なる深化を見せる！

2001年牧 阿佐美バレエ団入団。これまでも古典から現代作品まで多数の作品に主演し、2004年にはローラン・プティのガラ公演に日本人としてただ一人、最年少で出演するなど、プティから多大なる薫陶を受けた彼が、3度目のカジモド役で見せる円熟の表現に期待も高まります。

パリオペラ座バレエ団エトワール

STÉPHANE
BULLION

ステファン・ビュリオン

12 sun



オペラ座引退公演直後、日本では最初で最後のカジモド役

1997年17歳でパリ・オペラ座バレエ団の一員となり、2001年コリフェ、2003年スジェ、2008年ブルミエール・ダンスールへと昇進後、2010年エトワールに任命されました。芸術文化勲章シュヴァリエも受勲。2022年6月、引退公演直後に来日、本公演が最後のカジモド役となります。

Esmeralda

エスメラルダ

牧 阿佐美バレエ団プリンシパル

KIKA
AOYAMA

青山季可

11 sat



バレエ団の名花、滴を持して初役に挑む

2001年に牧阿佐美バレエ団に入団。2006年に『白鳥の湖』で主演デビュー。その後『ロミオとジュリエット』、『眠れる森の美女』、『ドン・キホーテ』など、数々の主要な舞台で主役を務める名実ともにバレエ団のトッププリマが、昨年の『アルルの女』に続くプティ作品で見せる新たな一面は必見！

ローマ歌劇場バレエ団エトワール

SUSANNA
SALVI

スザンナ・サルヴィ

12 sun



ドラマティックな表現力が光る美しきプリマ

2008年ローマ歌劇場バレエ団に入団。その後、タルサバレエ団、マッジオ・ミュージカル・フィオレンティーナ劇場を経て、2013年にローマ歌劇場バレエ団に再入団。2015年にソリスト、2018年プリマバレリーナに昇格。そして、彼女にとって『ノートルダム・ド・パリ』は、昨年エトワールに任命された思い入れの深い作品です。

Phoebus

フェビュス

国立アスタナ・オペラ・バレエ団
プリンシパル

ARMAN
URAZOV

アルマン・ウラーゾフ

11 sat / 12 sun



力強くダイナミックな踊りで魅了！

2010年から2013年までK. バイセイトワ国立オペラ・バレエ劇場に所属。2013年より国立アスタナ・オペラ・バレエ団のソリストとなり、2019年にプリンシパル・ダンサーに昇格。『ドン・キホーテ』のバジリオ、『マノン』のレスコー、『ノートルダム・ド・パリ』のフェビュスとフロロなど、幅広い役柄で活躍中！

Frollo

フロロ

牧 阿佐美バレエ団ファーストソリスト

SHUNSUKE
MIZUI

水井駿介

11 sat



『アルルの女』に次ぐプティ作品での新境地！

2011年ウィーン国立バレエ団に研修生を経てポーランド国立バレエ団に移籍し、2016年コリフェに昇格。2019年より牧 阿佐美バレエ団に在籍し、『くるみ割り人形』『眠れる森の美女』『白鳥の湖』『リーズの結婚』『アルルの女』に主演するなど、進境著しい、注目のダンサー。

牧 阿佐美バレエ団ファーストソリスト

LKHAGVASUREN
OTGONNYAM

ラグワスレン・オトゴンニャム

12 sun



シャープなムーヴメントで物語を牽引

2000年、モンゴル国立バレエ団に入団。古典や創作バレエの主役のほか、多数の役柄を踊り、2007年より牧 阿佐美バレエ団へ入団。以後、本公演全てに出演。本作『ノートルダム・ド・パリ』では、2度目のフロロ役として、圧倒的な存在感を誇ります。

Performance history

日本で唯一 『ノートルダム・ド・パリ』の上演を許された 牧 阿佐美バレエ団と巨匠ローラン・プティ

これまでに9つのローラン・プティ作品を上演してきた牧 阿佐美バレエ団は、1956年、日本バレエ界の草分けの一人である橘秋子（1907年–1971年、牧 阿佐美の母）により1933年に設立された橘バレエ研究所、橘秋子バレエ団を母体として創設され、2016年には創立60年を迎えました。幅広い作品のレパートリーと、高度なトレーニングを積んだダンサーの水準の高さにより、世界のバレエシーンの第一線で多彩な活動を展開しており、1971（昭和46）年より1994（平成6）年までは牧 阿佐美が、また同年以降は三谷恭三が芸術監督を務めています。レパートリーはチャイコフスキーの三大バレエ『眠れる森の美女』『白鳥の湖』『くるみ割り人形』をはじめとする主要な古典全幕、文学作品をバレエ化した『ロメオとジュリエット』などのほか、サー・フレデリック・アシュトン『リーズの結婚〜ラ・フィエユ・マル・ガルデ〜』、『三銃士』や『ホフマン物語』など、日本初演となった全幕作品も数多く上演しています。

ローラン・プティと牧 阿佐美バレエ団との関係は1996年の『アルルの女』の上演から始まり、98年には『ノートルダム・ド・パリ』を文化庁芸術祭主催公演として上演。中世パリの雰囲気そのままに、光と闇の織り成す濃密な世界を表現したダンサーたちの健闘が各紙の絶賛を集め、以後、2000年、2003年、2005年、2006年、2012年、2016年と再演を重ねています。2001年には、牧 阿佐美バレエ団創立45周年を祝して新作『デューク・エリントン・バレエ』を、2004年には『ピンク・フロイド・バレエ』を新制作。ともに海外でも日本発の作品として高い評価を得ました。

ローラン・プティ没後10年の2021年10月には15年振りに「アルルの女」を上演。色褪せない作品の魅力を示した舞台は、今年3月のNHKバレエの饗宴の放送でも大反響を呼びました。そして6月、6年振りに『ノートルダム・ド・パリ』全幕上演の幕が上がります。

牧 阿佐美バレエ団によるローラン・プティ作品

- 『アルルの女』（1996年 9月初演）
- 『ア・リタリエヌ』（1998年 8月初演）
- 『ノートルダム・ド・パリ』（1998年 11月初演）
- 『若者と死』『シャブリエ・ダンス』（1999年 5月初演）
- 『デューク・エリントン・バレエ』（2001年 7月初演）
- 『レ・トロワ・ジムノペティ』（2001年 9月初演）
- 『エリック・サティ・バレエ』（2003年 3月初演）
- 『ピンク・フロイド・バレエ』（2004年 2月初演）

COLUMN

渡辺 真弓（舞踊評論家）

20世紀のフランスが生んだ名振付家ローラン・プティがこの世を去って11年。

『若者と死』や『カルメン』『アルルの女』『コッペリア』など多彩なバレエ作品を世に送り出し、その変幻自在の作風で、「舞台の魔術師」と称えられた。

牧 阿佐美バレエ団では、巨匠の没後10年を追悼し、昨年「ローラン・プティの夕べ」を上演し、深い感銘を与えた。これに続いて今回は、大作『ノートルダム・ド・パリ』を6年ぶりに上演する（当初2020年に上演予定が、コロナ禍の影響で中止を余儀なくされ、今回に延期されたもの）。

この作品は、若くしてパリ・オペラ座を離れたプティが、久々に復帰して1965年に創作したもので、現在でも同バレエ団の重要な遺産として踊り継がれている。世界的にプティのバレエを上演できるバレエ団は限られているが、牧 阿佐美バレエ団は日本で唯一、この作品の上演を許可されている。こうして巨匠の名作に接することができることを心から歓迎したい。パリのノートルダム寺院と言えば、数年前に火災に遭ったのが記憶に新しい。この寺院は、パリのシンボルでもあり、文豪ヴィクトル・ユーゴーが長編小説の題材とし、自ら執筆した台本をもとにオペラに続いてバレエ版『ラ・エスメラルダ』（1844年ロンドン初演）が生まれた。ユーゴーの台本では、エスメラルダの無実の罪が晴れるというエンディングに変えられ、ロシアでプティパによって改訂された『エスメラルダ』（1886年）でもこの流れが反映されている。20世紀後半に誕生したプティ版は、ユーゴーの原作に基づき、悲劇へと突き進む主人公たちの姿を現代的で斬新な手法で描写。音楽は、『アラビアのロレンス』などの映画音楽で知られる巨匠モーリス・ジャール、衣装は、イヴ・サン＝ローランが担当するなど最高のスタッフを集めて制作された。打楽器の強烈なリズムに合わせて、モンドリアン・ルックの奇抜な衣装をまとったダンサーたちが縦横に踊るのが見ものである。

意外なことに、バレエの主演は、ジプシー娘のエスメラルダでも、ハンサムな隊長のフェビュスでもなく、異形の鐘撞き男カジモドである。社会から疎外された弱者に光を当てた点でも、プティはバレエ界の先駆者であったと言える。

プティの、物語のエッセンスを取り出してドラマをまとめる手腕は天才的で、このバレエでも主要登場人物は、エスメラルダ、カジモド、フェビュス、フロロの4名のみ。各自のキャラクターがコントラスト鮮やかに描き出されたソロをはじめ、エスメラルダとカジモドの愛情の通い合うデュエット、エスメラルダとフェビュスにフロロの影がつきまとう宿命的なパ・ド・トロワなど、全2幕13場は、見どころにこと欠かない。

群舞の迫力も見逃せない。冒頭の衣裳の色彩が鮮烈だが、時に主人公達の味方にもなり、敵にもなるという謎めいた設定が、いかにもプティらしい。

今回カジモドを演じるのは、菊地研とパリ・オペラ座のステファン・ビュリオン。いずれもプティ作品の解釈に定評があるので、初演時のプティから歴代のスター達が演じてきたこの伝説の大役をいかに演じるか興味は尽きない。美貌のエスメラルダには、バレエ団のトップスター、青山季可が初挑戦。副司教のフロロには、新進の水井駿介が同じく初役で登場、ラグワスレン・オトゴンニャムとの交互出演が話題だ。

1、2月の公演が相次いで中止を余儀なくされただけに、バレエ団の総力を挙げた本公演にかける期待は大きい。今から胸をときめかせて、幕が上がるのを待っている。

Voice of expectation

各界からも期待の声！



映像でしか見た事がないので、公演めちゃくちゃ楽しみなんですよ！初っ端の色鮮やかな衣装の民衆の群舞をはじめ、クセが強い男達とそいつらを虜にしちゃうエスメラルダ、これは生で観て浴びないと！主要キャスト、違いを楽しみたいので2回とも観ないと！！

ジョージ朝倉／漫画家

舞台は退廃の15世紀パリ。しかしそこに、時に優美、また時には幾分祝祭的な舞踊、音楽、衣装等が混ざり込み、独特な世界観を作り出す。その退廃と美の融合こそは、まさにパリの世界観そのものなのかもしれない。本作は振付をローラン・プティ、音楽をモーリス・ジャール、また衣装をイヴ・サンローランと、各界のトップアーティストが手掛けており、その総合から作り出される世界は圧倒的で、観るものの心に確実に何らかの傷跡を残すだろうと思う。

務川慧悟／ピアニスト



Notre-Dame de Paris

牧 阿佐美バレエ団

『ノートルダム・ド・パリ』

2022

6.11 sat 15:30 開演

S席 13,000円、A席 10,000円、B席 7,000円、C席 4,000円、D席 2,000円

6.12 sun 14:00 開演

S席 15,000円、A席 12,000円、B席 9,000円、C席 6,000円、D席 3,000円

※公演日より料金が異なりますので、ご注意ください。

公演中止を除き、チケットの払い戻し、公演日・席種の振替はいたしませんので、ご了承のうえお買い求めください。

上演時間 約2時間（休憩含む）

牧 阿佐美バレエ団オフィシャルチケット <http://r-t.jp/ambt06>

楽天チケット <http://r-t.jp/ambt>

チケットぴあ <https://t.pia.jp/> Pコード：511-339

イープラス <https://eplus.jp/>

カンフェティ <https://confetti-web.com/> Tel :0120-240-540

東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650

シビックチケット Tel 03-5803-1111

お問い合わせ：牧 阿佐美バレエ団 <http://ambt.jp> Tel 03-3360-8251（平日10:00～18:00）



会場：東京文化会館大ホール

振付・台本	ローラン・プティ	
衣装	イヴ・サン＝ローラン	
音楽	モーリス・ジャール	
装置	ルネ・アリオ	
原作	ヴィクトル・ユーゴー	
振付スーパーバイザー	ルイジ・ボニーノ	照明デザイン、技術監修 ジャン＝ミシェル・デジレ

※ご来場をご検討いただく際は、「公演会場における感染症対策、及びご来場いただくお客様へのお願い」をよくご確認ください。

「公演会場における感染症対策、及びご来場いただくお客様へのお願い」はこちら>>>

※今後の状況により、公演の開催に変更が生じることもございます。ご来場前には必ず、当バレエ団WEBサイトにてご確認ください。

※未就学のお子様のご入場はご遠慮ください。お子様も一人一枚チケットをお求めください。

※座席により舞台の一部が見にくい場合がございます。予めご了承ください。

※やむを得ない事情により出演者等が変更になる場合がございます。変更になった場合でも、払い戻し、席種・日にちの振り替えはいたしません。

※公演中止を除き、チケットの変更および払い戻しはいたしません。

【助成】



文化庁文化芸術振興費補助金（舞台芸術創造活動活性化事業）
独立行政法人日本芸術文化振興会

主催：一般財団法人 牧阿佐美バレエ団
後援：一般社団法人 日本バレエ団連盟
特別協賛：株式会社大和証券グループ本社